

2023年3月23日

神奈川都市交通株式会社  
取締役社長 伊藤 宏様

新都市交通労働組合  
執行委員長 藤井勇悟

## 2023年春闘要求書

ロシア・ウクライナ戦争の影響などによる長引く円安や止まらぬ物価上昇で、我々の生活は苦しくなる一方である。大手企業では予想を上回るベアや春闘の満額回答が続いている中、神奈川都市交通においても賃上げできるかどうか人が人材確保のための正念場と当組合は考える。神奈川県タクシ業界のリーディングカンパニーとして、最低限、政府の方針でもある物価上昇分の賃上げに、ぜひとも対応していただきたい。

タクシー業界に限らず、運輸業界全般の人手不足は今後も改善される見通しは薄い。その中で人材を確保し、安定した売り上げを実現するためには古い慣習に固執することなく、新しい取り組みを行う必要性に迫られている。そうした取り組みに対して当組合も真摯に協力する所存である。これらを踏まえ、以下のことを要求する。

尚、回答は令和5年3月30日までをお願い致します。

## 《記》

- 1) クレジット手数料の廃止
- 2) 13乗務目、定時制に対する交通費を支給すること
- 3) コンフォート車のヘッドライトをLED化すること  
(深夜の安全対策として)
- 4) 13乗務目の賃率を70%とすること  
(12乗務対策)
- 5) 制帽の廃止  
(乗務員獲得対策)
- 6) 精勤賞を2000円/日とすること

以上